

	29	排出係数改善	電気の排出係数の改善	2019年度の電力に伴うCO ₂ 排出量113.1千t。太陽光発電の設置(1.7t-CO ₂)、再エネ電力への切り替え(11.3t-CO ₂)の対策が未導入の事業所の電力使用に対して、0.457kg-CO ₂ から0.25kg-CO ₂ に排出係数が改善されたと仮定。 【(113.1千t-1.7t-11.3t)÷0.457×0.25】	54.8
合計					70.7
運輸部門	30	自動車の運用	急発進、急加速をしない	エコドライブの削減効果304kg(※2)。40,000台が取り組むと仮定。 【304kg×40,000台÷1,000,000】	12.2
	31	自動車の運用	テレワークの実施	テレワークを1人が実施することで230kgのCO ₂ を削減(※11)。8,000人が実施すると仮定。 【230kg×8,000人÷1,000,000】	1.8
	32	環境配慮車	電気自動車に切り替え再エネで充電	ガソリン車1台の年間のCO ₂ 排出量1.5t(年間走行1万km、燃費15km、ガソリン1リットルのCO ₂ 排出係数2.32)。27,000台が置き換え、全て再エネ由来の電力で充電すると仮定 【1.5t×27,000台÷1,000】	40.5
合計					54.5
廃棄物部門	33	廃棄物削減	廃棄物削減	流山市一般廃棄物処理基本計画に示されるCO ₂ 排出量目標値、短期40%により算出。 【2030年度のBAU排出量(廃棄物)22.6t×40%】	9.0
	34	廃棄物削減	雑紙のリサイクル徹底	家庭から出る「燃やすごみ(湿ベース)」の約40%(平成29年度実績)を占める紙ごみのうち、10%を目標に資源化(※12)。 【2030年度のBAU排出量(廃棄物)22.6t×40%×10%】	0.9
合計					9.9
緑化による吸収源対策	35	吸収源	緑のカーテンの設置	緑のカーテン設置によるm ² 当たり削減量15.9kg(※13)。30,000世帯がそれぞれ2m×2m作成すると仮定。 【15.9kg×4m ² ×30,000世帯÷1,000,000】	1.908
	36	吸収源	グリーンチェーン認定	毎年700本の高木を植栽すると仮定。高木1本あたり38.5kgのCO ₂ 吸収(※14)。 【700本×38.5kg÷1,000,000】	0.027
	37	吸収源	植樹の推進(まちなか森づくりプロジェクト)	毎年100本の高木を植樹すると仮定。高木1本あたり38.5kgのCO ₂ 吸収(※14)。 【100本×38.5kg÷1,000,000】	0.004
	38	吸収源	森林による吸収	流山市内の森林面積249ha(※15)。1haあたり1.54tのCO ₂ を吸収(※14)。 【249ha×1.54t÷1,000】	0.383
合計					2.3

※ 対策事項ごとに四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。